



発行

社会福祉法人 山形県玉葉会
救護施設紅花ホーム

天童市大字成生1971番地26
0237(47)0241

HP <http://gyokuyokai.or.jp>
E-mail kohahome@gyokuyokai.or.jp



「紅花ホーム開設六十年」

園長 高橋 清見

紅花ホームは、昭和三十六年四月に開設し、今年でちょうど六十年、人間でいえば還暦としてお祝いをする年になりました。これも、利用者やご家族の皆さんのご理解とご協力、地域の皆さんやボランティアの皆さん、そして、関係機関のおかげであり、法人役員始め、職員のためまない努力の賜物だと思っております。感謝申し上げます。

この六十年の間には、利用者の方々の皆さんの状況はもちろん、生活様式や経済情勢など、社会的状況が大きく変わり、支援内容も変わってきました。

当初は基本的な生活習慣を重点にした支援でしたが、その後、生きがい対策支援へ移行し、日課内容も随時見直ししてきました。現在は、高齢化や障がいのある重複化などへの支援とともに地域生活移行支援など、一人ひとりに合わせた個別支援を重点に行っています。

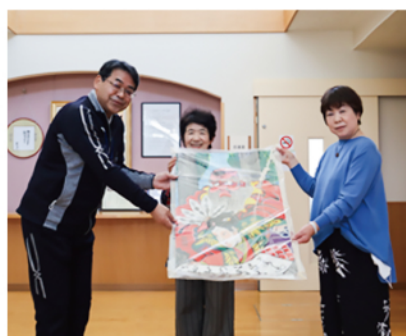
ただ、昨年からは新型コロナウイルス感染症の拡大により、新しい生活様式を実践し、感染予防に努めた中での支援対応という課題がでてきました。そして、このコロナ禍はいつ終息するのか、先行きがまだまだ不透明な状況です。

今年還暦を迎えた紅花ホームは、これから新しいスタートになります。様々な課題はありますが、今後も法人の理念である「利用者の安寧した生活とその人らしい生き方を支援する」ことを踏まえ、課題に向き合い、その時代に合った支援の在り方を常に模索していく必要があると思っております。

私たち職員一同、今後も利用者一人ひとりにしっかりと寄り添いながら施設運営に取り組んでまいりますので、今後も皆様方のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

◆ありがとう◆

☆天童市本町婦人会様
☆成生地区婦人会様
☆(株)龍角散様



☆天童市更生保護女性会様の
設立30周年記念として「花泉風」
をいただきました。

◆おしらせ◆

新任職員紹介



支援員
大内直也

①出身地 東根市
②好きな言葉 凡事徹底
③趣味や特技等 スポーツ観戦
④一言 利用者に寄り添った支
援をしていきたいと思ひます。
よろしくお願ひします。

◆利用状況◆

▽令和三年六月末日現在

■定員 一五名

■利用者数 一一一名

▽令和三年一月～六月末現在

■入所一名、退所三名

■一時入所※①

二名 延一～三日間利用

■体験入所※②

利用なし

※①対象者 生活保護の被保護者の
方で一時的に保護する必要が高い
方、最長一カ月
※②対象者 入所することを目的に
施設内の生活を体験したい方、一
七日間

意見や苦情の受付結果

(令和一年度)

区分	分類	件数
受付内容	生活指導、支援に関する事	7
	食事に関する事	51
	医療看護に関する事	3
	生活環境に関する事	26
	利用者間に関する事	43
	利用者の財産管理に関する事	0
	職員に関する事	1
	その他	19
	計	150
処理内容	解決 苦情解決責任者、受付担当者との話し合い又は苦情内容の改善	150
	第三者委員、又はその他の方法での解決	0
	今後改善を要する	0
	計	150

出来ることを増やして
生活を充実

四年前に再開した利用者
会。会員の自主的活動の向上
と活力ある共同体づくり、親
睦を深めることを目的として
活動しています。

再開当初は役員会や打合せ
等、初めて経験することも多
い様で、苦労続きではありま
すが、自主的に出来る事も増
えています。今後も紅花ホー
ムでの生活が充実する様にサ
ポートに努めていきます。



利用者会総会

社会復帰を目指して

「人付き合ひのコツを身に付
ける訓練」、SSTに取り組ん
でいます。学習のなかで「そ
ういう気持ちもあるのね」との
気付きや「それは違うんじゃない」と考えることが増えて
いきます。生活のなかで学習
内容を実践している様子も見
られ、訓練経過とともに成長
を実感しているところです。



SST(社会生活技能訓練)
に臨む利用者の皆さん。

編集後記

コロナのワクチン接種が全国的
に行われ、利用者の皆さんも接種
を受けたところ。このまま終
息に向かい、以前のような日常が
戻り、次号では行事や外出等、楽
しむ様子をたくさん掲載できれ
ばいいなと思ひています。(H・I)

※写真・氏名等は、ご本人の承諾を得て掲載させて頂いております。